



Subaru

ニュース№716

男声合唱団

'19. 12. 2

2019 日本のうたごえ祭典・京都 開催！
「昴」合唱発表会「一般の部B」「日々草」「朝露」で銅賞を受賞！
「音楽会Ⅲ」で「労働者の合唱」をうたう！！

11/29~12/1



□「手をつなごう～未来(あした)へ～」のメインテーマのもと、「2019年日本のうたごえ祭典・京都」が2019年1月29日(金)・30日(土)・12月1日(日)の3日間にわたりロームシアター京都他の会場で開催されました。同祭典は「京都のうたごえ70周年記念祭典」でもあり、全国から多くのうたごえの仲間が集まり、うたごえの大交流祭典となりました。

□昴は29日(金)にロームシアター京都・メインホールにて、合唱発表会・一般の部(B)に出場し、「日々草」と「朝露」を熱唱し、見事銅賞(第1席・全体から見て6位の評価)を受賞しました。出演者は全34名でした。

なお、「日々草」は昴が2005年の広島のうたごえ祭典で1位(次席)を受賞した曲であり、14年ぶりに、記念すべき再度の受賞曲となりました。ベテランの昴の団員の方々の感慨や如何に！また、昴3年ぶりに受賞！ということで、この間に入部された新しい団員の方々の喜びは如何に？！何よりもまずはこの受賞を喜び、お互いの健闘をたたえ合いたいと思います。

また、関西合唱団は金賞(第1位)を受賞し、その実力をうたごえの仲間に披露しました。

(なお、他部門での大阪代表の合唱団も大健闘です！別表にて以下に記します。)



音楽会Ⅲ「平和のバトン」より 第3部全国合同「大地讃頌」400名の大合唱 指揮:浅井敬壹さん

□30日(土)は「ねがいをつなぐ3つの音楽会」として、3つの大音楽会が開催されました。

音楽会Ⅰ『てをつなごう』－原発のない社会、いのちの水・琵琶湖を守る－

音楽会Ⅱ『生きること・働くこと』－いまこの現状を伝えるとともに希望の未来へ－

そして音楽会Ⅲ『平和のバトン』－憲法・沖縄・基地－

この3つの音楽会に延べ8,000人(出演者延べ2,000名)が参加し、「それぞれの思いを・ねがいを多くの歌に託して」の大音楽祭となりました。

「昴」は、音楽会Ⅲ「平和のバトン」に参加し、第3部の「全国合同」で「労働者の合唱」(「歌劇沖縄より」)を300名の男声合唱で歌い上げました。昴の出演者は28名でした。

前日の合唱発表会終了時から、約2時間待機し、20:45から35分間のリハーサルを行い、そして当日17:00に集合し、リハーサルを終えての19:45からの本番での大合唱へと、参加者は2日間にわたる奮闘で、沖縄の労働者の心を、そして沖縄辺野古基地建設反対と米軍基地のない真の独立への心意気を誇り高く歌い上げました。

2019日本のうたごえ祭典・京都 合唱発表会入賞団体

一般の部 B

・金賞

◦関西合唱団 (大阪)

◦埼玉合唱団 (埼玉)

・銀賞

◦仙台合唱団 (宮城)

◦三多摩青年合唱団 (東京)

◦山形センター合唱団 (山形)

(注) 仙台合唱団と三多摩青年合唱団は点数で同順位でしたので、出演順で掲載しております

・銅賞

◦男声合唱団昴 (大阪)

◦高知センター合唱団 (高知)

◦同志社むぎ・成安ふきのとうOB合唱団 (京都)

◦岩見沢合唱団こぶし (北海道)

◦合唱団ききゅう (埼玉)

・**激励賞** 退教互「たんごシワクチャーズ」 (京都)

(以下:大阪代表の表彰団体のみ掲載しました)

一般の部 A:・銀賞

- ・関西合唱団 青年部 Peace&Amuse (青年)
- ・うたって!元気!合唱団 (大阪)

職場の部:・銀賞

- ・国鉄大阪合唱団号笛 (大阪)
- ・衛都連合唱団 (自治体)

女性の部:・金賞

- ・レガーテ (大阪)
- ・うたごえサークルブーケ (大阪)

小編成の部:・金賞

- ・ヴォーカルアンサンブルAVANTI (大阪)

□今回の昴合唱発表会受賞に対する感想を一言ずつ寄せていただきました。(編集子)

□よたよたの本並美德から送ります。

男声合唱団「昴」銅賞の一位受賞、おめでとう!

今世紀初頭、藤後博巳の「けしかけ」で発足、福岡で金賞をいただいて以来20年。

その後 銀、銅も少しいただきましたが。

しっかり地につき、いい演奏をする、「うたごえ」ではまれな男声合唱団としてその存在をかすかに誇ってきました。

演奏会も12回、ほぼ満員のファンに支えられて、成功させてきました。次は13回も間ぢか。

しかし20年の道のりは厳しかった。(上っては下り、しょぼくれば、奮起し)

もう有りのままでやるっきゃーないかな!と思う今日この頃でした。

しかし、「昴」団員の皆様には頭が下がります。

人生経験の高い密度と、豊富な知性と品性、組織力を持った雄姿の「声!」。

それが音楽となり、より良い社会を作るに役立てば、と思いここまでやってこれたのだと思います。

この度の賞は「ただものではない」ような気がする。精一杯の到達点。(なんの仕掛けもない?実力)

自分達を自分達で褒めるのはどうかと思うが、何をやってきたか!何をどのように、誰に向かって歌ってきたかを確認しあえれば今後のバリアが広がる。

ありがとうございました。

指揮者:本並美德

□本当に良かったですね。私は、この3月、3年振りに復団した所で、20周年コンサートも控え、本当に幸せ者だとつくづく思います。皆さんに感謝です。富樫

□昴の皆様へ

3年ぶりの受賞となりました。おめでとうございます。

はじめての経験となる部員の方々も、受賞の感想はいかがでしょう?

2005年の広島のうたごえ祭典で「ぶどうとかたばみ」とともに「1位次席」に輝いた「日々草」です。14年ぶりの快挙です。

当時の先輩諸氏もいかが感じられたでしょう?

くしくも2020年来年のうたごえ祭典は広島です。

今回の受賞に対する感想を一言メッセージ、「昴ニュース」にお寄せ下さい。「よかった!」「うれしいね!」だけでも結構です

よろしく申し上げます。

2019年12月1日

吉川勝彦

□昴のみなさま

銅賞おめでとうございます。

音色も美しく 力みなく せつせつと歌いかけてくる
暖かで柔らかい演奏でしたね。中村聖保

優しく柔らかな音色が素敵だなあ と聴かせて頂きました。
皆様 おめでとうございます。また次の目標に向けて 頑張ってください 中村聖保

□どこも上手かったので、今年も入賞逃したかなと思っていましたが、6位とはスゴイ。／伊藤 知

□入賞をともに喜びたいと思います。昂にとっては、輝く金賞です。
千秋昌弘

□今年もだめなら3年連続、「やっぱり高齢化だし今後の昂は先細りかも・・・」という不安を見事打ち破ってくれた朗報でした。高齢でもやればできる、評価してもらえると確信が持てました。逆に言えば、今後は高齢化をダメな言い訳には使えない！ということにもなりますね。(きびしい!) 「全国の高齢者の希望の星」と評価してもらえるような合唱団になれるよう、明日からまた気持ちを新たにみんなががんばっていきましょう。そしてこの歓びを力に変えて、周りの人に「来年はぜひ昂の仲間として、ご一緒に日なたへ・・・」と、念願の団員拡大の取り組みにつなげましょう。(BS 川妻)

□昂は今まで20年間で18回コンクールに臨み12回入賞しています。一貫して交流の部よりもコンクールの部をめざして切磋琢磨してきました。その成果は大いにあったと思います。集中力や届ける人への思いなど歌うことの大切なことを常に意識しながら練習を積み上げてきたことは、平和や人間の尊厳を歌う歌をたくさんの人たちに届けようと演奏会等歌って広げることを大事にしてきた表れだと思います。この「うたごえ」の輪にもっと仲間をさそいたいものです。創立20年コンサートへの弾みになりました。さあコンサート成功へ向けて頑張りましょう。 立川孝信

□本並様

3年ぶりの銅賞トップ当選(全体で6番目の選出!)
毎年の講評者の評価の仕方についていつも批評しておられた本並先生のうたごえ合発に対する考えに賛同しつつ、今回も臨みました。

「講評」は気になるところですが、関西合唱団のトップ金賞といい、昂の銅賞1位といい、今回は、講評者にも「文句なし!」というところでしょうか?長年先生が大事にしてこられた歌を、われわれが懸命に歌いこみ、愛唱歌のようにすばらしい曲になっている「日々草」本当によかったなあ今回は思いました。

日曜日の紫金草合唱団お疲れさまでした。聴きに行けずすみません。家内が聴いてきました。藤後さんが歌っておられたと聞いて頭が下がります。

お疲れが出ませんように。ご自愛ください。(吉川)

□次の言葉、感想文のどこかに追加してください。本並美徳

「赤シャツ」はいつまでも破れない! シルバー合金「9条バッジ」も磨けば磨くほど輝きを増す。